情報連絡員報告を中心とした

力の中心企業動

平成26年2月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

(「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

↔前月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は5から8に増加。「減少した」業種は7から4に減少。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は2から7に増加。「減少した」業種は19から13に減少。
- ⇒業界の景況では、「好転した」業種は1から6に増加。「悪化した」業種は10から9に減少。

→ 前年同月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は8から12に増加。「減少した」業種は5から1に減少。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は8のまま変化なし。 「減少した」 業種は10から12に増加。
- ⇒業界の景況では、「好転した」業種は5から7に増加。「悪化した」業種は8から10に増加。

着実に増えている。さらに本来の ラシ・パンフレット等の印刷 け込み需要をターゲットにしたチ

結果

ているがこれも3月までとのこと 明である。 が施行されてその後の景況が不透 比べて、

3割増の企業も出

てき

より

現況では、

前年度同

電気鍍金

想される。

たようだが、 景況は、 幾分明るさが見えてき 一か月後に消費税

印刷

にも影響が懸念される。 値更新を続けており、 影響を与えている。入札ごとに高

今後の入札

先も見られる。

機械部品製造

(が25年度大豆の流通量に大きな

る

玉

屋大豆

につ

て、

昨年秋の

元来1月と同様の稼動日数しか無 して増加した模様である。

内印刷会社受注売上は1月と比較 景況 の変化につい て、 2月の県 2月は

0)

状況があり、

稼働日数がない

0

2月は雪害等にとる資材未着等

く、従来は低調な月間ですが、今 るよう期待したい。 引き続き好調傾向があり、 に余計生産が落ちた。業界動向は、

維持す

機械部品製造

消費税増税の影響もあ ŋ, 流山

年は消費税率の増加を見込んだ駆

が増えている。

物が

機械部品製造

感と合わせて中小企業は厳しい と残業対応等、 注はあるが、 応が続いている。 自動車関連駆け込み等による受 材料費アップ、 4月以降の不透明 休日 柏 対

として建設業と同様に人手や設備 年度末需要がこれに重なり、

の不足の声が聞こえてくる事が予

後一息のところで停滞している。 金属製品製造 景気の回復までの時間 は な

県内全域)

採石

荷が前 港湾事業の 景況の変化につい 地震対策やオリンピック開 が厳しい状況が続いてい 月より70%減となるなど、 入札時期の遅延などに ζ 1月は出

豆腐製造

県内全域

アップとならないもどかしさはあ 下限を切り上げつつ好転している 上 組合員各社ともに足元では、 増 加 が スト 1 トに収益 千葉

きるもの、事業規模が小さく、 パー港湾等の改修事業に期待がで 分厳しい状況に変わりなし。 に伴う東京港、川崎港、 横浜港スー 当

【県内全域

地域によっては、前年より上向き の見通しで、3月以降を注視した の1月の状況報告時と変化はない。 前月比及び前年同月比とも前月

雪の影響で入荷がとまり、 度は高値が続いている。更に、 終わると価格が下落するが、今年 【鶏卵卸】例年は年末の需要期が _総合卸売 【千葉県・東京都 一時需 大

造卸▽葉物野菜の高等が続き、採 できず、納品に遅れ出る。漬物製 【大雪被害】酒類卸▽ビール輸送が 要に対応できなかった。

□建築材料卸売 【県内全域

消費税アップのマイナス要因がこ 費税前の駆け込み需要も一段落し、 込み大幅修正余儀なくされる。消 メント在庫が余り気味。 され出荷激減。ひっ迫していたセ 気配。2月大雪のため、 われた建設需要が年明けから停滞 景況の変化について、堅調と思 今年度見 輸送寸断

> 込むと推定される。 れ 要まで間があり。 から効いて来る。 来年度は落ち オリンピック

□自動車解体 県内全域

た。

日が減少した。 北西部地域は、 同水準になり、先行き不安感あり。 月間で10%下落。前値同月とほぼ スクラップ価格下落。 積雪の影響で稼働 2月1ヶ

□卸売

ようです。 ですが、当組合でも勝ち組(忙し い)、負け組 景況の上昇は、まだまだのよう (比較的通常) がある

___食肉卸売業 千葉市他

悪化により資金繰りが大変である。 営状況が悪化している。収益業況 円安により高止まりして農家の経 状況が悪化している。 牛の処理頭数の減少により収益 飼料価格が

__乾物卸売業 【県内全域

響し、質的・量的にも前年を下回り、 前年に比べ減少。 の生産量は11%、 市況も好転せず。 上が減少。 景況の変化は、 業界動向は、 大雪の影響で売 海況の悪さが影 平均単価は20% 現在まで

柏

る。 最近、 小売 一方では、事務所系の出店希 退店意向が続けて出てい

望が増加している。

県内全域

2月後半消費税の影響が出始め

入荷が不安定となり、利益の確保 が難しかった。 が、高値相場の中雪の影響で更に 金額ベースでは高水準となった

□中古車仕入・販売 【県内全域

要による下取り車の増加により、 懸念される。 推移している。4月以降の反動が 場は上がり全体の取引は好循環で タマの増加と仕入れ需要により相 消費税引き上げ前の駆け込み需

小売 東金

では、値上がり傾向がさらに続い で春物が伸びていない。食品関係 が続いたので冬物が動いているが ている。2週連続の雪での影響が 価格帯が下がっている。その反動 大きかった。 ファッション関連品は、 寒い日

□小売 野田

実施する。 の駆け込み需要を狙ったセールを く下回った。消費税率引き上げ前 に見舞われ、売上は前年比を大き 週末、2週続きの記録的な大雪

]小売・サービス

が伸びるのではないかと期待した が全く伸びなかった。 はない。下旬になり、 月比・前年比ともよかった事業者 2回の雪が商店街にも直撃、 少しは客足

□牛乳小売業 (県内全域)

が増販となっている。 類の商品が、各社とも良い販売量 1~3月に対して、 ヨーグルト

県内全域

(期末)迄は継続すると見ている。 前月の状況が続いている。3月

断されキャンセル続出となった。 記録的な大雪により、 交通が遮

一般廃棄物処理 千葉

べると好転の結果となった。 が多くあり、前月・前年同月と比 費税増税を見越して、早めの依頼 3月の引越時期と4月からの消

【県内全域

増加となった。 前月比で26億15百万の増加であっ 66億33百万円であった。これ 当連合会加入組合員の受注は 前年同月比でも22億9百万の

2月の売上は前月比と変わり 前年同月比約10%上昇した。